

1 事業概要

事務事業名		防災・安全対策事業		課名	土木課	事業No.	241
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める			
	分野別計画			飯田市地域防災計画			
				橋梁長寿命化修繕計画			
法令・例規等			河川法				
			道路法				
事業目的		対象	市道、河川、排水路				
		意図	道路、河川、排水路の整備により社会基盤を強化する				

2 事業内容

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	30年度取組	防災・安全対策が必要な道路整備、通学路安全点検に基づく危険箇所の整備を進めます。道路施設の定期点検を進めるとともに、橋りょうの長寿命化及び耐震整備を進めます。道路、河川の危険箇所の整備や排水路の整備を進めます。	防災・安全交付金事業（道路整備）
防災・安全交付金事業（通学路安全対策）			49,064
橋りょう長寿命化修繕事業			156,904
防災対策避難路整備事業			74,731
道路自然災害防止事業			52,250
橋りょう耐震整備事業			54,826
河川自然災害防止事業			15,682
河川改修事業（単独）			3,419
排水路整備事業			21,578
その他の経費			5,628

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績		
	市道整備工事	箇所	14	17	17		
	橋りょう整備工事	箇所	4	6	5		
	河川整備工事	箇所	10	12	7		
	排水路整備工事	箇所	10	15	15		

30年度決算(千円)	予算額		729,076	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		534,997	(国) 防災・安全社会資本整備総合交付金 (5.5/10、5/10)				
	財源の状況	国庫支出金	163,402	(地) 公共事業等 (充当率90%) 102,700千円				
		県支出金	0	(地) 緊急防災・減災 (充当率100%) 131,100千円				
		地方債	301,600	(地) 自然災害防止 (充当率100%) 67,800千円				
		その他	3,578	(そ) 繰越金				
一般財源	66,417	29→30 繰越明許費 103,076千円 30→1 繰越明許費 131,306千円						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	3	11	6	153,430	153,342	防災・安全交付金事業費（道路整備）（通学路安全対策）
2	1	8	2	4	10	2	269,466	156,904	橋りょう長寿命化修繕事業費
3	1	8	2	3	12	4	105,601	76,996	防災対策避難路整備事業費（単独事務費含む）
4	1	8	2	3	12	9	52,258	52,250	道路自然災害防止事業費
5	1	8	2	5	10	2	77,726	54,826	橋りょう耐震整備事業費
6	1	8	3	3	12	2	45,022	15,682	河川自然災害防止事業費
7	1	8	3	3	12	1	25,573	24,997	河川改修事業費（単独）、排水路整備事業費
振り返り課題認識		防災・安全対策が必要な道路（通学路）については、急峻な地形等により整備が難航する路線も存在しますが、危険要因の解消を目的とする整備を効率的に進める必要があります。橋梁の定期点検がすべて完了し、今後5年以内に修繕する橋梁を把握したので、優先順位を検討して修繕を進める必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		担当各課との協議・調整により効率的に事業を執行します。橋梁定期点検の結果を反映して長寿命化計画を見直し、修繕工事の優先順位を決めて計画的に修繕を実施します。							
次年度に向けての取り組み		整備予定箇所の現地確認及び点検を行い、緊急度の高い路線から事業化を進めます。橋梁長寿命化計画を見直して重要度の高い橋梁から修繕を進めます。							